

『歲月が経てば』 山根 俊郎

1. はじめに

私が 2004 年にパソコンをやり始めてしばらく経ってからだと思うが K B S T V の光復何 10 周年かの特番を見た。6・25 (朝鮮戦争) で廃墟になったソウルの街にある歌がこだましたというナレーションに続き女性の澄んだ歌声が流れた。曲名は『歲月が経てば』(헤어 카뮈·세월이 가면) と表示。私はこのフォークソング風の歌が 1950 年代に歌われたとはとても信じられずに悶々と苦悩して生きてきた。今回は、明洞 (명동) で生まれたシャンソン『歲月が経てば』について徹底研究してみたい。

2. 朴麟姫が歌う『歲月が経てば』

この『歲月が経てば』(헤어 카뮈·세월이 가면 朴寅煥詞、李眞燮曲、李ジョンソン [이정선]



編曲) は、女性フォーク歌手朴麟姫 (パク・インヒ、박인희) が歌い、1976 年地球レコードから発売された。

「朴麟姫美しい歌 特集 VOL.3」(1976.08.17 JIGU JLS121134)

の A 面 7 曲目に収録されている。しかし、この歌は何か変だ！と言うのも出だしが歌わずに詩の朗読のようになっているのである。どうもこの歌は、詩が



「朴麟姫美しい歌 特集 VOL.3」のジャケットの表と裏

先にあって後で曲をつけたようである。また、オリジナルでなく元歌をリメイクした感じがした。当時、朴麟姫はとても人気があった。『朝露』(아침이슬 1972 年) の楊姫銀 (ヤン・ヒョン、양희은) と人気・実力が伯仲していた。私は朴麟姫の透明感のある清楚な歌声が好きであった。メロディーも単純で覚えやすかった。

朴麟姫の経歴。

1945 年生まれ。シンガーソングライターである。1970 年淑明女子大学校仏文科に在学中に李ピルwon (이필원) と混成デュエット “トアエモア” (뚜아에모아) を結成して『約束』でデビュー。1971 年 9 月 TBC 歌謡大賞、重唱団部門で大賞を受賞するが、グループを解散する。その後、ソロ歌手として活躍する。

主なヒット曲。

- 1 『焚き火』 (모닥불 73 年、朴健浩詞、朴麟姫曲)。
- 2 『春の来る道』 (봄이 오는길 74 年、金基雄詞、曲)。
- 3 『果てしない道』 (끝이 없는길 75 年、朴健浩詞、李ヒョンソプ (이현섭) 曲)。
- 4 『放浪者』 (방랑자 76 年、朴麟姫詞、外国曲)。

渡米した朴麟姫

朴麟姫は放送にも出演していたが、1981 年突然に休業して渡米してしまう。アメリカでは歌と無関係な生活をしていたが離婚や熱心なファンの復帰の願いもあり 2016 年 4 月になると 35 年ぶり韓国に帰り、カムバックコンサートも持った。朴麟姫は 71 歳になっていた。



35 年ぶりに帰国した朴麟姫

세월이 가면

박인환 작사
이진섭 작곡
박인희 노래

악보

Bm Cadenza

rubato

Bm G Em D Bm

in tempo

F#m

G F#m Bm A D

F#m Bm D Em G F#m

Bm F#m D Em D

Bm Em D DM7 D7

Em Free Tempo A Em

F#m ton Bm D.S.

coda Bm

Bm G Em D F#m

1. (지금은 그 사람 이름은 잊었지만
그 눈동자 입술은 내 가슴에 있네)
바람이 불고 비가 올 때도
나는 저 유리창 밖 가로등 그들의
밤을 잊지 못하지

(今はその人の名前も忘れてしまったが
その瞳、唇は 私の胸に残っている)
風が吹き 雨が降るときも
私は窓の外の街路灯 その下の
夜を 忘れられない

* 사랑은 가도 옛날은 남는 것
여름날의 호숫가 가을의 공원
그 벤치위에 나뭇잎은 떨어지고
나뭇잎은 흩이 되고 나뭇잎에 덮혀서
우리들 사랑이 사라진다 해도
내 서늘한 가슴에 있네

* 愛は去り 思い出は残るもの
夏の湖畔 秋の公演
そのベンチに 枯葉は落ち
枯葉は土になり 枯葉に覆われる
われらの愛が 消えてしまっても
今も 悲しい胸に残っている

3. 玄仁が歌う『歲月が経てば』

実は、解放後 1950 年代の最高のスター歌手である玄仁（현인・현인）が先に『歲月が経てば』を歌っている。写真は YouTube で見つけた 1988 年 10 月 24 日放送の TV 画面。（恐らく KBS 1「歌謡舞台」？）晩年の玄仁は、この『歲月が経てば』を好んで歌ったようだ。



私が調査した結果、玄仁は 1959 年に釜山のララレコードから『歲月は経ち』（세월은 가고・R646）という題名で発表している。よって、玄仁が最初に『歲月が経てば』を歌ったものと考えられてきた。

玄仁の情報は私が「岩波世界人名大辞典」（2013 年発行）P2241 に記述したものである。

玄仁（현인）本名：玄東柱 1919. 12. 14～2002. 4. 13 韓国の大衆歌謡の男性歌手 慶尚南道 東萊で出生、ソウルで育つ。京城第 2 高等普通学校 2 年の時に日本に渡り東京上野音楽学校（声楽科本科）に入学。40 年頃に中退して帰国し、楽劇に出演。戦争中は上海に逃れた。

解放後、46 年 6 月に帰国し舞台上で公演する。『新羅の月夜』の評判が良く、作曲家朴是春はラッキーレコードを創立して 49 年 4 月に発売すると爆発的な大ヒットとなった。玄仁のバイブレーションを効かした唱法は異国情緒を感じさせ一世を風靡した。99 年文化勲章花冠章を受賞。2002 年 4 月 13 日に持病の糖尿病のためソウルアサン病院にて享年 83 歳で死亡。

代表曲『新羅の月夜』（실라에탈함・신라의 달밤 49 年兪湖詞・朴是春曲）、『雨降る顧母嶺』（비 내리는 고모령 49 年兪湖詞・朴是春曲）、『頑張れ今順よ』（힘내라 김순아・군세어라 금순아 53 年、姜海人＝姜史浪詞・朴是春曲）。

4. 書籍“明洞夜話”の『歲月が経てば』

私は、1980 年代から韓国を訪問するたびに LP レコードと若干の書籍を買い求めてきた。今回歌謡『歲月が経てば』を調べるために確実なイメージを持てた書籍がある。「韓国日報」編集委員をしていた崔ナムジン（최남진）が書いた「明洞夜話」（1982 年シンウォン文化社）という 1950 年代ソウル最大の繁華街明洞で酒に酔う詩人、作家など文化人の生態と喫茶店の風俗ややくざの抗争などを描写した本である。

P217～P219 に若くして死んだ詩人朴寅煥（박・인환、박인환 1926-1956）を悼む文章とともに朴寅煥が創作した詩「歲月が経てば」に曲がつけられて歌謡『歲月が経てば』が誕生した過程が記述されている。

♪今はその人の名前も忘れてしまったがその瞳、唇は 私の胸に残っている 風が吹き 雨が降るときも.. 56 年早春、東邦（トソバン）サロンの向かい側にあったみすばらしいピンデトック（お好み焼き）屋から香しい切々とした愛の歌が聞こえてきた。「さあ、もう一度歌おう！」角刈りのハンサムな朴寅煥、明洞の娘たちが美男俳優のパイロンパワーに似ているとぞろぞろついてくる朴寅煥が作詞を、李眞燮（이・진섭、이진섭）が曲を付けて、テナー歌手林萬燮（임・만섭、임만섭）が歌を歌う最初の発表会とも言えるこじんまりとしたリサイタルが陰鬱な薄暗いマッコリを出す居酒屋で開かれた。

興奮しやすい朴寅煥は立て続けに 3、4 杯空けて、李眞燮は酒杯を手に持ったまま指揮をしていた。体が大きくその音量は当時、わが国で最高であった林萬燮は声の調子を整え始めた。

道を歩く通行人たちがのぞき込もうが、店の客たちはこの 3 名を見つめようがお構いなしに 3 名の口からは休むことなく明洞のエレジーが流れ出た。店の若いマダムが「悲しくて涙が止まらないから歌うのをやめて」と頼んでも 3 名が歌う高く低いシャンソンの甘く哀切なバイブレーションは果てしなく続いた。この日集まった画家金フンガァ（김훈과）、金ガァンジュ（김광주）、金ガァンシク（김광식）、金ウツン（김은성）、李ヨソオン（이명운）達と自分が作った明洞のシャンソン『歲月が経てば』を歌い、喜んでいた朴寅煥は彼らと別れて 3 日後の 3 月 20 日に（数え歳）31 歳という若さでその生涯を終えた。

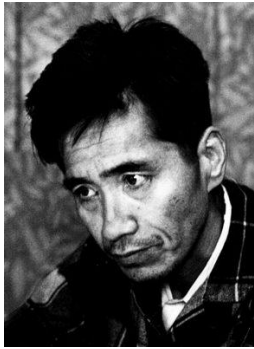
5. TV “明洞伯爵” の『歳月が経てば』

私は、YouTube で歌謡『歳月が経てば』を調べていると興味深い TV 番組が出てきた。韓国の EBS（教育放送）が 2004 年 9 月 5 日～12 月 6 日、月曜日・火曜日 PM10 時から 50 分間 24 話放送された「明洞伯爵」である。文化史シリーズの一環として企画されたものであり、明洞の文化芸術人たちの話である。放送当時に大好評になり EBS 史上最初に視聴率 1 % を突破した。

ドラマは、明洞を愛し自分の庭のように 20 年間通っていた“明洞伯爵”というニックネームの新聞記者兼小説家である李鳳九（イ・ボンク、이봉구 1916-1983）と親しい詩人金洙暎（キム・スヨン、김수영 1921-1968）、詩人朴寅煥を中心にドラマは進行する。



李鳳九



金洙暎



朴寅煥

それ以外にも文化人の吳相淳（オ・サンソン、오상순）、詩人金冠植（キム・クワンシク、김관식）、女性翻訳家 田惠麟（チョン・ヘリン、전혜린）だけでなく演劇演出家 李海浪（イ・ヘラン、이해랑）、舞踊家金白峰（キム・ペクボン、김백봉）、画家李仲燮（イ・チュンソプ、이중섭）などの明洞で活躍した芸術家が多く登場する。

また、明洞を縄張りにするヤクザのボス李華龍（イ・ハジョン、이화룡）、後に明洞皇帝と呼ばれる組暴のボス申上士（シンサンサ、本名：申常鉉）や東大門のボス、政治カンペの李丁載（イ・ジンジェ、이정재）などの抗争事件も盛り込まれている。

このドラマでは、1951 年に李鳳九が避難先の釜山から帰ってくると明洞は、廃墟になっていた。その後、徐々に喫茶店や酒場ができて 1955 年青年実業家の金ドングン（김동근）が東邦サロンという喫茶店を作って文人たちが多く出入りした。また 3 階には東邦文化会という文化団体も創設した。

なお、歌謡『歳月が経てば』誕生場面は、第 14 話に登場する。番組の HP の台本を参考にする。



TV “明洞伯爵” の一場面 羅愛心が歌っている

左から李眞燮、趙炳華、羅愛心、一人置いて朴寅煥
場所：あるクックパブ（汁飯）屋の店内（夜）
趙炳華、李眞燮、羅愛心、朴寅煥が酒を飲みながら話している。朴寅煥が詩を書いている。羅愛心が朴寅煥に興味を示し覗き見る。「今はそ

の人の名前も忘れてしまったがその瞳、唇は 私の胸に残っている」詩人趙炳華（イ・ビョンファ、이병화）が女優・歌手の羅愛心（ナ・エム、나애심）をからかう。羅愛心は謝り、ヤカンのマッコリを趙炳華に注ぐ。趙炳華は、羅愛心に歌うことをねだる。羅愛心は雰囲気合う良い持ち歌がない

と断る。横で聞いていた記者で劇作家の李眞燮（イ・ジンソプ、이진섭）は朴寅煥が書いている詩の紙を取り上げて読んでみる。そして、店の女主人に紙と鉛筆を持って来させて、その



李眞燮

紙に五線紙を書き楽譜を書き始めた。即興に作曲し始めたのである。詩人朴寅煥が詩を書くとその紙を見ながら李眞燮が作曲を続けていき、ようやく歌謡『歳月が経てば』は完成する。

羅愛心がその楽譜を見ながら歌っていくのであった。最後にはどこから持ってきたのか李眞燮がギターを弾いて伴奏を付けて羅愛心が歌いあげるのである。解説でカン・ソクジュ（詩人）は、従来の説との整合性を取るためか「羅愛心が帰った後にテナー歌手林萬燮が現れてこの『歳月が経てば』を朗々と歌った」と言っているが、やや無理がある。「詩人朴寅煥の遺言となった詩である」には納得がいった。

6. 最初の音盤発見のニュース

非常に有力な「物的証拠」が発見された。私の友人である大衆歌謡研究家の李俊熙（イ・ジュニ、이준희）さんが『歳月が経てば』の最初の音盤を発見したのである。

2015 年 8 月 10 日 09:27 オーマイニュース
戦後明洞「伝説」の『歳月が経てば』

最初の音盤を発見 女優兼歌手羅愛心
が最初に録音」 李俊熙

1926 年に生まれた詩人朴寅煥（パク・インファン、박인환）は、満 30 歳にもならない 1956 年 3 月 20 日に心臓麻痺のためこの世を去った。突然の彼の死は未だ戦後の疲弊と暗鬱から抜け出せなかった文化芸術界の深い衝撃と悲しみであった。僅か数日前に『歳月が経てば』（세월이 가면）という歌を作り、明洞の飲み屋街は静かな感動に浸ったところなのに朴寅煥がそんな形でこの世を去るのを予想した人は誰もいなかった。

その才能のように命を長らえず夭折した詩人に対する不憫さと心残りが深かったせいか朴寅煥の最後の作品『歳月が経てば』は、既に 1956 年当時からあれこれと話題になり伝説となっていた。そのように作られた伝説の一つの例がこの歌が即席で作詞、作曲されたという話もあるが、近年多くの書誌研究の成果としてそのような伝説の誤りは幸いにして相当部分が正されてきた。

ところで、歌『歳月が経てば』の歴史を整理するために非常に重要な点である最初の音盤の録音に関しては確実な実物資料が公開されず、その間に引き続き少くない混乱が生じた。

明洞の飲み屋で最初に発表した当時テナー歌手林萬燮（임・만섭、임만섭）または俳優兼歌手である羅愛心（나·애심、나애심）が即席で歌ったという記録に従い羅愛心が最初に録音をしたとする説があり、「新羅の月夜」で有名な歌手玄仁（현·인、현인）が最初に音盤を発表したという説もあった。また、1960 年代にデビューした歌手崔良淑（최·양숙、최양숙）が最初の録音歌手だという何の根拠もない主張もインターネット上で度々見かけることが



ある。

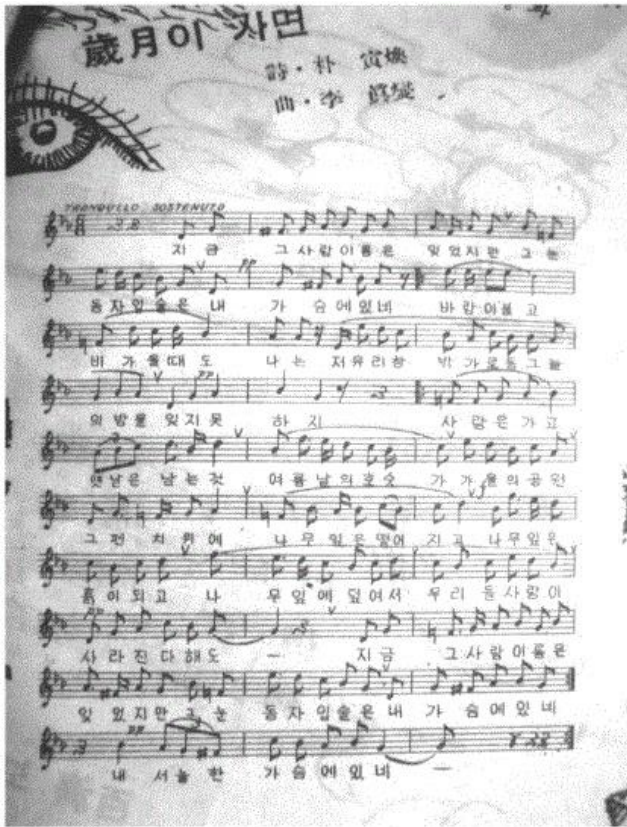
玄仁の場合 1959 年に『歳月が経てば』（세월은 가고）という題名で発表したレコード音盤が実際に確認されている。今までは「玄仁が最初の録音説」が最も有力として認定されてきたが、最近それよりも時期がもっと以前の羅愛心が録音したレコード音盤が発見されて、今までの混乱に終止符が打たれた。羅愛心のレコード音盤は新新レコードから発売されたもので音盤一連番号が S 438 であり、同じレコード社から発売された S 447 『マニラ貿易船』（마닐라 무역선）、S 448 『三国志』（삼국지）などが 1956 年 9 月に既に発表されているので『歳月が経てば』の発表時点も推測できる。

また、1956 年 4 月中旬に刊行されたある週刊誌の記事の中で「女優で歌手である羅愛心嬢が自発的に歌いたいと言い、その後に羅嬢の兄である全吾承（전·오승、전오승 1923-2016）の編曲・指揮でソウル放送局を通じて放送されると同時にレコードに吹込まれるようになったという」は題目が確認されているので、この度発見された羅愛心の音盤はおおよそ 1956 年 5 月前後に制作された可能性が高い。

朴寅煥の突然の死による社会的波長を音盤の商業的成功に連結させたい音盤会社の立場から見れば最大に急いで発売する事が当然であったと言えるであろう。

『歳月が経てば』（세월이 가면）は、羅愛心の最初の音盤以後、多くの歌手が各自のスタイルで繰り返し録音して発表した。1959 年玄仁

の曲以外にも 1968 年玄美（ヒョンミ、현미）の曲、1972 年〔山根注：1982 年が正しい〕趙容弼（チョ・ヨンピル、조용필）の曲、1976 年朴麟姫（パク・インヒ、박인희）の曲などがよく知られている。しかし、1956 年創作当時の歌詞の原形にもっとも近いのは、やはり羅愛心の録音盤である。他の曲は、一応題目から『歲月が経ち』（세월은 가고）、『歲月が経ても』（세월은 가도）などとして原作と差異を見せ



ていて、原作の歌詞の一部を丸ごと持ち出しもした。

半面、羅愛心の曲は助詞一か所を除いて朴寅煥の歌詞とそのままだ一致する。

1956 年 6 月月刊誌に掲載された『歲月が経てば』の最初の楽譜

但し、編曲を見ても羅愛心の録音も作曲者李眞燮（イ・ジンソプ、이진섭）の元の曲調と相当な差異を見せている。1956 年 6 月月刊誌に載せられた最初の楽譜は 6/8 拍子になっているが、羅愛心の歌は 4/4 拍子になっている。基本的な旋律は類似し音符に歌詞をつける方式が非常に複雑になっていて、元の楽譜とはかなり異なる印象である。半面、玄仁以後に録音された曲は大抵、3 拍系列で編曲されており、現在、大衆的にもっとも広く歌われている朴麟姫の曲もそのように録音されている。

この度『歲月が経てば』の最初の音盤を発見

した‘昔の歌を愛する会 有情千里’では来る 11 月創立記念の集まりを通じて公開して鑑賞する席をまず準備する予定である。そして、以後関連資料を少し補充して文壇の作家たちが昔の歌謡を集めた復刻音盤を制作することも積極的に検討している。今はその人の身体は行ってしまったが、その歌詞、曲調はわれらの胸にある。

7. まとめ

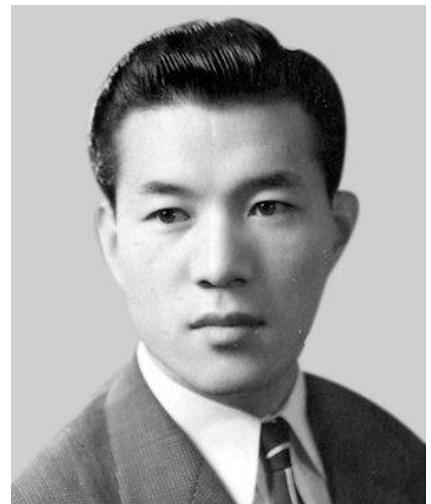
このように歌謡『歲月が経てば』の創作過程には李俊熙さんの研究に脱帽する。

1956 年の早春に詩人朴寅煥が作詞をして李眞燮が作曲した『歲月が経てば』は完成した。

東邦（トバン）サロンの向かい側にあったみすばらしいピンデトック（お好み焼き）屋でテナー歌手林萬燮がこの歌のお披露目のために歌った事実はあったかもしれない。しかし、それも将来有望な詩人朴寅煥が 1956 年 3 月 20 日に心臓麻痺のため死去したセンセーショナルのため出てきた話のように思われる。

4 月になり羅愛心が自発的に歌いたいと言い、その後に羅愛心の兄である全吾承（チョン・オスン、전오승 1923-2016）の編曲・指揮でソウル放送局を通じて放送されると同時にレコードに吹込まれるようになった。

ただし、羅愛心版はヒットせずに、1959 年に玄仁が釜山のララレコードから出した『歲月は経ち』



作曲家 全吾承（전오승 카고・세월은 가고、R646）により広まった。しかし、世間で決定的にこの歌が認知されるのは 1976 年フォーク歌手 朴麟姫が歌った『歲月が経てば』であった。

1950 年代の若き詩人朴寅煥のセンチメンタリズムは今も韓国人に愛されているのである。〔追伸〕1955 年大ヒット曲『放浪詩人金サッカ』（金文応詞、全吾承曲、明国煥唄）を作曲された作曲家 全吾承先生が今年、2016 年 7 月 3 日アメリカの LA で亡くなりました。享年 93 歳。謹んでご冥福をお祈りします。（終）